

令和 6 年 度

印旛広域水道用水供給事業

下半期事業概要報告書

自 令和 6 年 10 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

一. 令和6年度下半期の事業概要

1. 事業の概要

下半期の用水供給量は、11,397,461 m³（一日平均62,623 m³）で前年度同期の用水供給量 11,104,341 m³（一日平均60,679 m³）との比較では293,120 m³（対前年度同期比2.64％）の増となっています。

なお、本年度下期の業務量は、次のとおりです。

区 分	令和6年度下半期 (m ³)	令和5年度下半期 (m ³)	増 減 (m ³)	前年度比 (%)
取 水 量	11,898,520	11,590,920	307,600	2.65
送 水 量	11,402,921	11,109,831	293,090	2.64
有 収 水 量	11,397,461	11,104,341	293,120	2.64

2. 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

収益的収支については、事業収益1,992,571,361円に対し、事業費用は、2,074,950,327円となりました。

事業収益の内訳は、営業収益1,912,115,534円、営業外収益80,455,827円となっています。

また、事業費用の内訳は、営業費用2,037,760,116円、営業外費用26,632,189円及び特別損失10,558,022円となりました。

なお、前年度同期の事業収益（1,955,183,702円）との比較では37,387,659円（対前年度同期比1.91％）の増収となり、また、前年度同期の事業費用（2,046,504,406円）との比較では28,445,921円（対前年度同期比1.39％）の増額となっています。

一方、資本的収支については、資本的収入額517,148,000円に対し、資本的支出額は1,087,076,807円となりました。

資本的収入の内訳は、企業債が151,200,000円、国庫補助金が181,819,000円、出資金が184,129,000円、資本的支出の内訳は、新設工事費が589,096,850円、建設改良費が155,058,861円、企業債償還金が124,670,651円、年賦償還金が13,719,176円、国庫補助金返還金が4,531,269円、投資が200,000,000円となっております。

(1) 収益の収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

収 入

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A－B－C)	予算対比 (%) (C／A)
事 業 収 益	3,991,498,000	1,984,344,430	1,992,571,361	14,582,209	49.9
営業収益	3,832,639,000	1,906,723,226	1,912,115,534	13,800,240	49.9
営業外収益	158,859,000	77,621,204	80,455,827	781,969	50.6

支 出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A－B－C)	予算対比 (%) (C／A)
事 業 費 用	4,024,755,000	1,811,681,681	2,074,950,327	138,122,992	51.6
営業費用	3,961,936,000	1,796,051,097	2,037,760,116	128,124,787	51.4
営業外費用	42,265,000	15,630,584	26,632,189	2,227	63.0
特別損失	10,560,000	0	10,558,022	1,978	100.0
予備費	9,994,000	0	0	9,994,000	0.0

(2) 資本的収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

収 入

(単位：円)

区 分	予算額 (A)				上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A－B－C)	予算対比 (%) (C／A)
	予算額	法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合計				
資 本 的 収 入	547,337,000	0	0	547,337,000	2,289,000	517,148,000	27,900,000	94.5
企業債	179,100,000	0	0	179,100,000	0	151,200,000	27,900,000	84.4
国庫補助金	181,819,000	0	0	181,819,000	0	181,819,000	0	100.0
出資金	186,418,000	0	0	186,418,000	2,289,000	184,129,000	0	98.8

支 出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)				上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A－B－C)	予算対比 (%) (C／A)
	予算額	法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合計				
資 本 的 支 出	1,246,891,000	0	112,292,286	1,359,183,286	138,951,000	1,087,076,807	133,155,479	80.0
新設工事費	597,401,000	0	112,292,286	709,693,286	493,488	589,096,850	120,102,948	83.0
建設改良費	172,743,000	0	0	172,743,000	14,633,728	155,058,861	3,050,411	89.8
企業債償還金	248,495,000	0	0	248,495,000	123,823,784	124,670,651	565	50.2
国庫補助金返還金	4,532,000	0	0	4,532,000	0	4,531,269	731	100.0
予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0
年賦償還金	13,720,000	0	0	13,720,000	0	13,719,176	824	100.0
投資	200,000,000	0	0	200,000,000	0	200,000,000	0	100.0

3. 工 事

(1)改良工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日 (予定年月日)
印西市平岡供給地点圧力・流量調節弁更新工事	1. φ200mm圧力調節弁更新工 1基 2. φ150mm流量調節弁更新工 1基 3. 試運転調整 1式	93,500,000	令和5.9.12	令和7.3.14
電磁式水道メーター更新工事(その1)	1. φ250mm電磁式水道メーター更新工 2台 2. φ150mm電磁式水道メーター更新工 5台 3. 試験運転調整 1式	36,336,300 (77,000,000)	令和6.10.29	(令和8.2.27)
佐倉市南部供給地点等圧力・流量調節弁更新工事	1. 佐倉市南部供給地点φ250mm電動ロート弁等更新工 2基 2. 印西市印旛供給地点φ150mm電動ロート弁等更新工 2基 3. 試運転調整 1式	0 (286,000,000)	令和6.10.29	(令和8.3.14)
水道企業部庁舎照明LED化工事	1. 照明器具改修工事 1式 2. 配線器具その他工事 1式	3,190,000	令和6.11.26	令和7.1.31
船形分岐地点及び成田市山口供給地点計装設備更新工事	1. 船形分岐地点計装設備工事 1式 2. 成田市山口供給地点計装設備工事 1式 3. 北総浄水場側設備機能改造工事 1式 4. 印東加圧ポンプ場側設備機能改造工事 1式	0 (253,000,000)	令和7.3.31	(令和9.3.17)

(注)工事費の()書きは工事費総額であり、上段は当該年度執行分である。

(2)保存工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日
成田市山口供給地点流量調節弁等制御装置修繕工事	1. 流量調節弁等制御装置部品交換工 2台 2. バルブギア部及び制御部点検工 1台 3. 試験調整工 1式 4. バルブ外面塗装工 2台	13,750,000	令和6.10.29	令和7.3.14

二. 令和6年度印旛郡市広域市町村圏事務組合
水道用水供給事業損益計算書(消費税及び地方消費税抜き表示)
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)
各項目の上段()内は、令和6年度下期の数値を示す。

(単位:円)

1 営業収益			
	(1,738,286,871)		
(1) 給水収益	<u>3,471,671,645</u>	(1,738,286,871)	
		3,471,671,645	
2 営業費用			
	(1,201,832,437)		
(1) 原水及び浄水費	2,413,508,095		
	(257,545,499)		
(2) 送水費	324,046,368		
	(80,481,076)		
(3) 総係費	122,790,274		
	(350,297,022)		
(4) 減価償却費	701,848,856		
	(2,030,240)	(1,892,186,274)	
(5) 資産減耗費	<u>2,030,240</u>	<u>3,564,223,833</u>	
営業損失			(△153,899,403)
			92,552,188
3 営業外収益			
	(553,000)		
(1) 他会計補助金	879,000		
	(806,000)		
(2) 受取利息及び配当金	1,420,885		
	(77,072,894)		
(3) 長期前受金戻入	153,553,870		
	(1,865,279)	(80,297,173)	
(4) 雑収益	<u>2,047,052</u>	157,900,807	
4 営業外費用			
	(14,725,257)		
(1) 支払利息	30,355,841		
	(164,639)	(14,889,896)	(65,407,277)
(2) 雑支出	<u>164,639</u>	<u>30,520,480</u>	<u>127,380,327</u>
経常利益			(△88,492,126)
			34,828,139
5 特別損失			
	(10,558,022)	(10,558,022)	
(1) その他特別損失	<u>10,558,022</u>	10,558,022	
当年度純利益			(△99,050,148)
			24,270,117
前年度繰越利益剰余金			(△357,349,937)
			0
その他未処分利益剰余金変動額			(248,494,435)
			248,494,435
当年度未処分利益剰余金			(△207,905,650)
			<u>272,764,552</u>

三. 令和6年度印旛郡市広域市町村圏事務組合
水道用水供給事業貸借対照表(消費税及び地方消費税抜き表示)
(令和7年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ. 土 地		300,735,514	
ロ. 建 物	299,124,038		
減価償却累計額	△ 183,310,156	115,813,882	
ハ. 構 築 物	15,474,978,393		
減価償却累計額	△ 10,441,566,466	5,033,411,927	
ニ. 機 械 及 び 装 置	3,890,709,390		
減価償却累計額	△ 2,726,366,114	1,164,343,276	
ホ. 工具器具及び備品	5,428,980		
減価償却累計額	△ 3,317,821	2,111,159	
ヘ. 建 設 仮 勘 定		969,790,219	
有形固定資産合計			7,586,205,977

(2) 無 形 固 定 資 産

イ. ダ ム 使 用 権		11,222,557,067	
ロ. 電 話 加 入 権		547,100	
ハ. その他無形固定資産		402,305	
無形固定資産合計			11,223,506,472

(3) 投資その他の資産

イ. 前払退職手当負担金		119,376,591	
ロ. 投資有価証券		400,000,000	
投資その他の資産合計			519,376,591
固 定 資 産 合 計			19,329,089,040

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		4,934,176,649	
(2) 未 収 金		343,339,443	
(3) 貯 蔵 品		2,977,270	
流動資産合計			5,280,493,362
資 産 合 計			24,609,582,402

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

2,363,042,829

企業債合計

2,363,042,829

(2) 年賦未払金

88,914,923

固定負債合計

2,451,957,752

4 流動負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

244,188,329

企業債合計

244,188,329

(2) 年賦未払金

13,955,023

(3) 未払金

202,184,321

(4) 引当金

イ. 賞与引当金

14,708,000

引当金合計

14,708,000

(5) その他流動負債

イ. 預り諸税等

2,186

その他流動負債

2,186

流動負債合計

475,037,859

5 繰延収益

(1) 長期前受金

10,465,016,971

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 5,929,144,927

繰延収益合計

4,535,872,044

負債合計

7,462,867,655

資本の部

6 資本金

14,897,337,348

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ. 国庫補助金

182,318,901

ロ. その他資本剰余金

444,289,033

資本剰余金合計

626,607,934

(2) 利益剰余金

イ. 減債積立金

1,350,004,913

ロ. 当年度未処分利益剰余金

272,764,552

利益剰余金合計

1,622,769,465

剰余金合計

2,249,377,399

資本合計

17,146,714,747

負債・資本合計

24,609,582,402

注 記 表

I 重要な会計方針

- 1 たな卸資産の評価基準及び評価方法
 - ・貯蔵品 先入先出法による原価法

- 2 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
 - ・定額法
 - ・主な耐用年数
建物:65年、構築物:40年、機械及び装置:15年、器具及び備品:5～15年
- (2) 無形固定資産
 - ・定額法

- 3 引当金の計上基準

- (1) 退職手当給付引当金
当年度末における職員に対する退職手当の要支給額と千葉県市町村総合事務組合への積立額を比較したところ、積立額が要支給額を超える負担額となっており、前払費用として前払退職手当負担金を計上している。
- (2) 賞与引当金及び法定福利費引当金
職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費の支払に備えるため、本年度末における支給見込額に基づき、本年度の負担に属する額を計上している。

- 4 消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

II 貸借対照表

- 1 賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

令和6年度において、期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費を支出するため、12,784千円を取り崩している。

四. 令和7年度予算の概要

1. 予算の概要

令和7年度予算は、水道用水供給量23,169,700m³（一日平均63,478m³）で前年度比170,600m³（△0.73%）の供給量減となっています。

資本的支出の新設工事費は、霞ヶ浦導水建設事業の負担金及び印旛広域水道用水供給事業再評価業務委託等を計上しました。建設改良費は、「佐倉市南部供給地点等圧力・流量調節弁更新工事」（令和6年度～令和7年度）、「船形分岐地点及び成田市山口供給地点計装設備更新工事」（令和7年度～令和8年度）等を計上しました。

収益的収入及び支出

収入

（単位：円）

区分	令和7年度当初予算額	令和6年度当初予算額	比較増減
事業収益	4,022,806,000	4,040,792,000	△ 17,986,000
営業収益	3,828,597,000	3,855,126,000	△ 26,529,000
営業外収益	194,209,000	185,666,000	8,543,000

支出

区分	令和7年度当初予算額	令和6年度当初予算額	比較増減
事業費用	3,946,430,000	3,955,357,000	△ 8,927,000
営業費用	3,899,953,000	3,909,807,000	△ 9,854,000
営業外費用	26,858,000	30,385,000	△ 3,527,000
特別損失	9,619,000	5,165,000	4,454,000
予備費	10,000,000	10,000,000	0

資本的収入及び支出

収入

区分	令和7年度当初予算額	令和6年度当初予算額	比較増減
資本的収入	708,617,000	576,793,000	131,824,000
企業債	234,500,000	179,100,000	55,400,000
国庫補助金	234,666,000	196,820,000	37,846,000
出資金	239,451,000	200,873,000	38,578,000

支出

区分	令和7年度当初予算額	令和6年度当初予算額	比較増減
資本的支出	1,985,408,000	1,425,712,000	559,696,000
新設工事費	723,222,000	626,903,000	96,319,000
建設改良費	777,309,000	535,782,000	241,527,000
企業債償還金	244,189,000	248,495,000	△ 4,306,000
年賦償還金	13,956,000	0	13,956,000
国庫補助金返還金	16,732,000	4,532,000	12,200,000
投資	200,000,000	0	200,000,000
予備費	10,000,000	10,000,000	0

2. 事業の経営方針

当組合は、構成団体の早期供給要望に対し、浄水場等基幹施設の建設を先送りし、千葉県企業局への浄水加工委託により、昭和57年度に一部給水を開始し、平成5年度から全構成団体へ供給となっております。

また、平成17年度から「水道施設の使用及び業務委託に関する協定書」を締結し、千葉県企業局の行政財産の使用許可及び浄水処理等の業務委託による方式に改めたものがあります。

経営状況ですが、平成19年度に累積欠損金が解消され令和6年度決算におきましても、34,828,139円の経常利益となっており、資金不足額も無く、流動比率も高く、良好な経営状態にあると判断されるところであります。

しかしながら、営業収支では92,552,188円の営業損失となっていることから、費用の抑制等、収支の改善を図っていきます。

また、今後は資本費の負担や施設の更新事業費が多大に見込まれ、厳しい経営を余儀なくされることが想定されるため、更なる経営の効率化に努めます。

今後も水道用水の供給を安定して行うため、将来の水需要を的確に把握し、事業運営を効率的に行います。